

国立大学入学者選抜研究連絡協議会 の 活 動

国立大学における入学者選抜に関する研究の交流と協力を推進し、入学者選抜方法の改善に寄与することを目的に、昭和 55 年 6 月、各国立大学の入学者選抜方法研究委員会と大学入試センター研究開発部で組織された国立大学入学者選抜研究連絡協議会（略称：入研協）の第 12 回大会が、平成 3 年 5 月 29 日（水）・30（木）の 2 日間、東京の九段会館で開催された。

総会及び研究会には、公・私立大学 39 大学 64 名の関係者を含む 346 名が出席した。公開講演会には、高等学校等からの 40 名を含む 386 名の参加者があった。

また、新しい企画として入研協主催のセミナーが、第 12 回大会前日の 5 月 28 日（火）に、大学入試センターで開催された。このセミナーには、国公私立大学から 128 名の参加者があった。

○第 12 回総会

「本大会への公・私立大学の参加に関する申合せ」が承認され、平成 4 年度の大会から研究発表の募集を行うこととなった。その他平成 2 年度会務報告、平成 3 年度事業計画等が例年どおり承

認された。

○公開講演会

テーマ：大学の入試・教育・経営など

講演者：清水 畏三（桜美林学園理事長・学園長）

○研究会

研究会 I

① 高野文彦（大学入試センター）

入研協 10 年間の活動状況の評価

② 甲村和三（名古屋工業大学）

分離分割入試による新入学生の入学
校選択などに関する調査的研究

③ 岩田 礼（静岡大学）

選抜方式多様化のための一つの試み
—同一日程に於ける複数方式選抜の
実施—

④ 柳井晴夫（大学入試センター）

高等学校における進学指導の実態に
関する調査結果の分析

研究会 II

⑤ 山田文康（大学入試センター）

試験問題の定性的評価に基づく科目
難易度の推定—社会・理科について
の第 1 次報告—

⑥ 石塚智一（大学入試センター）

英語の試験問題の出題形式に関する比較研究

⑦鈴木規夫（大学入試センター）

国語の試験問題の出題形式に関する比較研究

⑧豊田秀樹（大学入試センター）

数学の試験問題の出題形式と設問過程に関する比較研究

⑨熊本芳朗（電気通信大学）

大学入試センター試験だけで選抜したときの合格者の第2次試験成績の推定

研究会 III

⑩高崎禎夫（広島大学）

小論文よ自信をもて一選抜貢献率と入れ替わり率から見た各教科の働き一

⑪三田村峻右（筑波大学）

大学入試における実技試験についての研究

⑫平野光昭（山梨医科大学）

面接の評価と入学後の成績等との関連について（その3）

研究会 IV

⑬山村 滋（大学入試センター）

北海道大学文 III 系における入試科目の変更と受験者・合格者の学力特性の変化一学力型による分析一

⑭中村紘司（北海道教育大学）

受験生のタイプと志望順位・学内成績について

⑮市川定夫（埼玉大学）

学内成績と入試成績との相関（平成元年度入学生対象）

⑯阪口周吉（浜松医科大学）

医科大学卒業活動状況と入試成績及び学業成績との関連について

○地区協議会

北海道地区、東北地区、中部地区、中国・四国地区、九州地区の5地区の地区協議会が大会時に開催された。

関東・甲信越地区、近畿地区の2地区の地区協議会は、別の日程で開催され、それぞれ情報交換等を行った。

○入研協セミナー

このセミナーは、各大学で入試研究を担当する教職員に対して、講師を委嘱された大学入試センター研究開発部が、テキストを用意して「入試研究のための基礎的統計手法一具体的事例を中心にして一」のテーマで開催された。

○共同研究プロジェクト

高野文彦（大学入試センター・副所長）を研究代表者とする共同研究プロジェクト「大学入学者の特性と選抜方法との関連についての追跡調査研究」は、平成3年度科学研究費補助金（総合研究 A）の交付を受け、25の国公立大学で追跡調査研究が進められている。

平成3年9月26日（木）・27日（金）

に第1回研究会を、平成4年2月6日（木）・7日（金）に第2回研究会を開催し、各大学での研究結果の中間発表及び質疑討論が活発に行われた。また、平成4年度には、新たに1大学が加わり、研究活動の推進を計ることとしている。

本研究プロジェクトは、26の国公立大学と大学入試センターが協力して、

各大学の入学者の追跡調査を組織的にを行い、その結果を比較分析することにより、推薦入学などを含めた選抜方法の相異と、入学者の特性との関連を見出すことを目的としている。また、研究結果は、国立大学協会、公立大学協会を通じて全国公立大学に報告し、各大学の入試改善の資料となることを目指している。